

たくさんの人々の心で紡がれた9日間

「国民文化祭・京都2011」は、10月29日（土）から11月6日（日）までの期間に、京都府内すべての市町村で約70にも及ぶイベントが開催されました。南丹市では、9日間の期間を通して、大人から子どもまで、そしてアマチュアからプロまで、さまざまな立場で「ものづくり」に携わる皆さんの多くの作品展示と、各種イベントを実施しました。

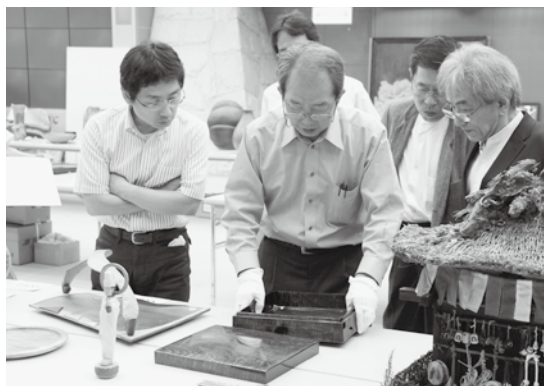
南丹市ならではの文化が開花

国民文化祭。

京都2011開催



▲創立65周年を記念する京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～が開催されました



▲9月17日(土)には、美術展「工芸」の審査会が開催されました



▲府立農芸高校、北桑田高校の生徒の皆さんによるモニュメントが、園部駅西口で来訪者をお迎えしました



▲工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」

10月29日から11月6日まで、京都府内全域で開催された「国民文化祭・京都2011」は、多くの人々が参加し、各地で盛大に開催されました。

南丹市会場では、主催事業の「美術展・工芸」の展示会場となった市立文化博物館や南丹市国際交流会館を中心に、「南丹市らしさ」をアピールしながら多彩な催しを展開し、市内外から多くの皆さんにご参加いただきました。

国民文化祭については、次号で詳しく報告します。